

平成 30 年 4 月 6 日

「平成 30 年 1～3 月期 中小企業 景気動向調査」 結果報告

— 業況DI やや悪化ながら、引き続き高水準 —

一般財団法人しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので、ご報告します。

1. 調査概要（調査／しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	平成 30 年 3 月 1 日～7 日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 546 社
回収状況	回収数 541 社（回収率 99.1%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 平成 30 年 1～3 月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで 5.4 となり、平成 29 年 12 月の前回調査（11.6）と比べて 6.2 ポイント悪化した。前回は平成 8 年の調査以来はじめて 10 を上回ったが、今回はやや悪化となり、10 を下回る結果となった。ただし、過去と比べると高い水準にある。

②平成 30 年 4～6 月期の見通し

次回の業況 DI は 0.3 ポイント悪化の 5.1 を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	今期	次期見通し	
全体	541	11.6	5.4	5.1	
製造業	276	20.2	14.9	12.4	やや悪化ながら高水準を維持、人手不足感が強まる。
二輪車部品製造	50	22.0	24.0	4.0	2四半期連続の20台と高水準を維持、受注良好のコメント多し。
自動車部品製造	67	31.8	26.9	23.9	若干の悪化も、受注増加を受け、高水準を維持。
機械部品製造	54	20.4	9.3	14.8	業況DIは6四半期ぶりの悪化も、省力化向けの受注は良好。
楽器部品製造	18	5.3	-11.1	-27.8	業況DI悪化、再びマイナス水準へ。
繊維製造	24	4.2	16.7	16.7	業況DI改善、原材料価格はやや上昇気配。
卸売業	67	-4.5	-13.6	-3.0	業況DI悪化、2四半期連続のマイナス水準。明るいコメントは減少。
小売業	54	-22.2	-5.6	-5.6	業況改善、マイナス解消間近、他産業の水準と概ね並ぶ。明るいコメント増える。
建設業	64	23.4	7.8	-6.3	業況DI悪化も、年度末工事を迎へプラス水準を維持。
不動産業	40	9.8	7.5	10.0	業況DI横ばい圏内、5四半期連続のプラス水準。コメントはまちまち。
飲食・宿泊・レジャー等	13	-7.7	-53.8	-15.4	業況DI大幅悪化、大河ドラマ終了の悪影響もあり。

本件のお問い合わせ先

◆◆ 4 月より法人組織を変更しました ◆◆

一般財団法人 しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2 丁目 7-1 浜松商工会議所 5 階